

取扱説明書

52X Series

PLUG IN GAUGE Ø52

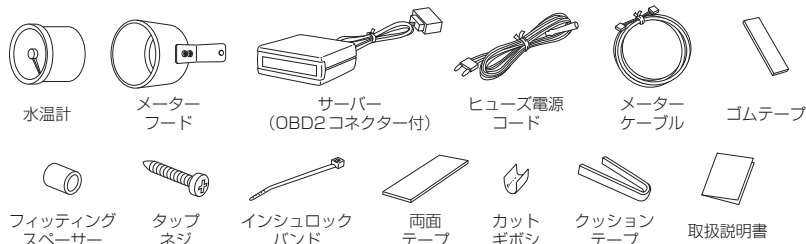
EURO SPEC

この度はPIVOT 52X-R56N MINI 専用品をお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>警告 下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

- 注意**
1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
 2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
 3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html
 4. メーターフードは日光等で非常に熱くなることがありますので、火傷等には特に注意してください。

内容物をご確認ください



52X-R56Nの特長

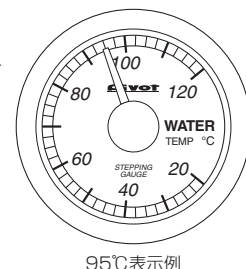
52X-R56Nは故障診断コネクタに差し込むだけでMINI専用のCAN通信を解析し、水温表示できるメーターです。(対応車以外は不可)

配管不要・簡単装着	故障診断コネクタに簡単装着なので配管作業が不要
LEDイルミ	コントラストに優れた高輝度ホワイトLEDイルミネーション
ステッピングドライブ	高精度ステッピングモーター採用で高精度表示

各表示と用途

水温計

- ▶表示 20℃～120℃
- ▶用途 ●オーバーヒート
●暖機チェック など



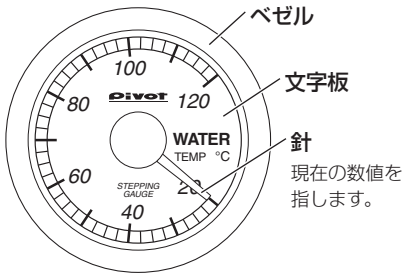
95℃表示例

オープニングデモ

オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、水温表示に移行します。

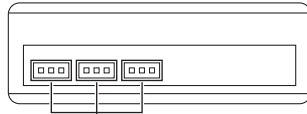
各部の名称

●メーター



●サーバー

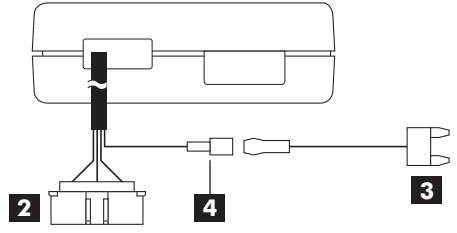
(メーター接続側)



1 メーター出力コネクター
メーターケーブルを接続

2 OBD2 コネクター
通信信号を得るために接続

(車輻接続側)



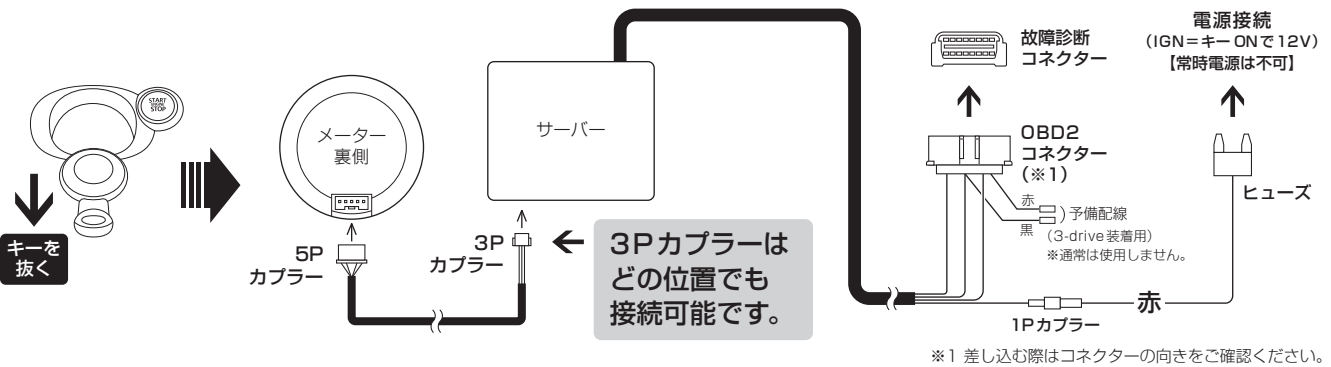
3 ヒューズ電源コード
電源を得るために接続
(カットして直接配線也可)

4 1Pコネクター
サーバー電源コードと
ヒューズ電源コードを接続

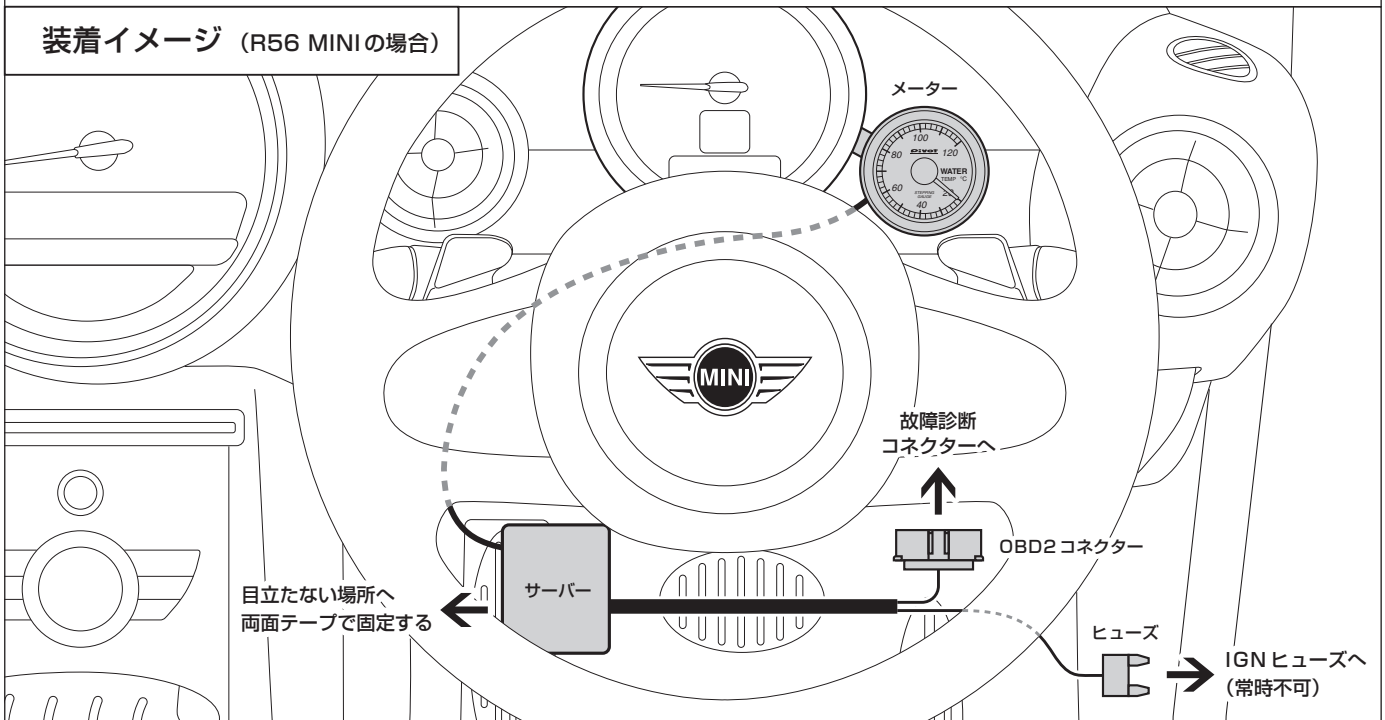
配線接続方法

基本配線図

各配線はキーをOFFにし、抜いた状態で行ってください。



装着イメージ (R56 MINIの場合)



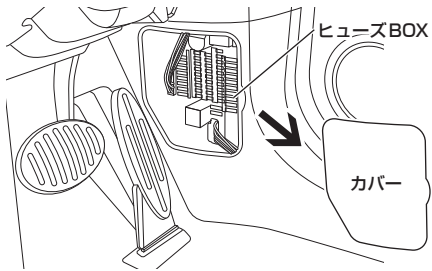
1

電源接続を行う

下記はBMW MINI ONE ME14でヒューズBOXへ配線する場合の一例です。
その他の車種で不明な場合はディーラー等でご確認ください。

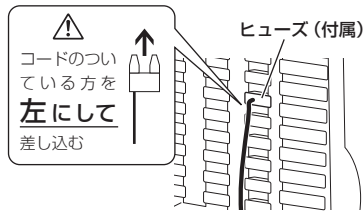
1 ヒューズBOXのカバーを外す

運転席右横のカバーを⊖ドライバーなどを使って外します。

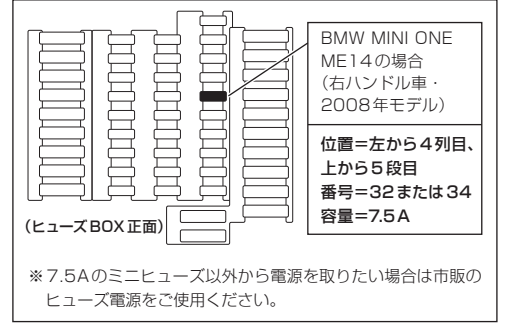


2 指定ヒューズへ接続する

ヒューズBOXのIGN供給できるヒューズ(キーONで12V、常時電源は不可)を抜き、付属のヒューズ電源コードをそこへ接続します。



【参考1】指定ヒューズ位置例

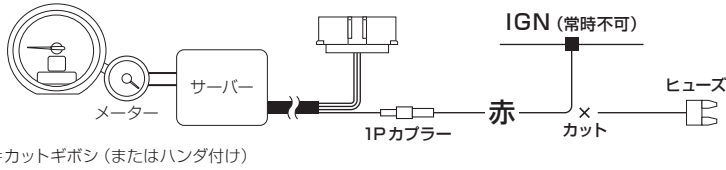


※7.5Aのミニヒューズ以外から電源を取りたい場合は市販のヒューズ電源をご使用ください。

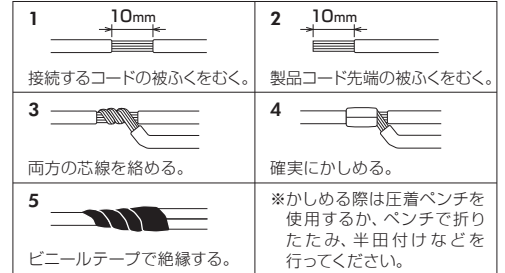


ヒューズBOXで電源が取れない、もしくは取りたくない場合は、IGN(キースイッチONで12V)へ直接配線を行ってください。

※OBD2コネクターから出ている赤コードへは接続しないでください。



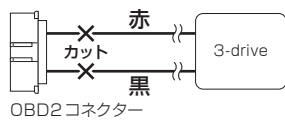
【参考2】カットギボシの使い方



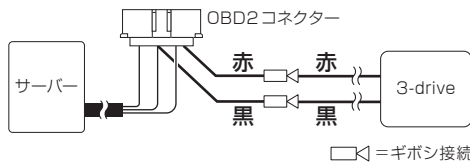
こんなときは PIVOT製 3-driveシリーズと併用する場合

3-driveのOBD2コネクターをカットし、サーバーのコネクターから出ているコードにギボシ接続します。

- ① 車輻側の故障診断コネクターからOBD2コネクターを抜く。
- ② OBD2コネクターから出ているコードを適当な位置で切断する。



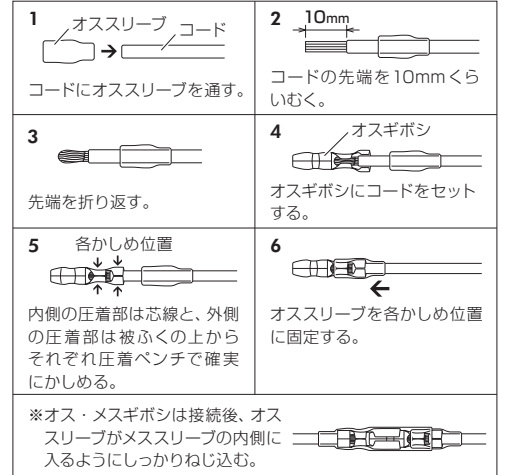
- ③ 黒、赤コードにギボシを付け、確実に接続する。
⇒【参考3】ギボシの使い方



こんなときは PIVOT製 PROGAUGE・REV LAMPシリーズと併用する場合

別売の「OBD2配線キット」(OBD-EH 税込¥3,360)をお使いいただくか、PROGAUGE・REV LAMPの直接配線にてお取り付けください。

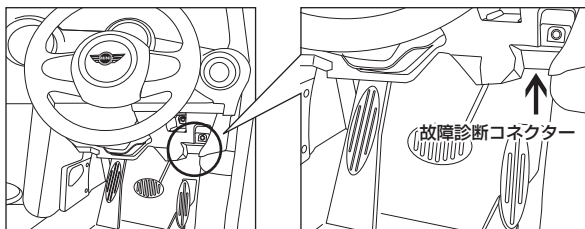
【参考3】ギボシの使い方



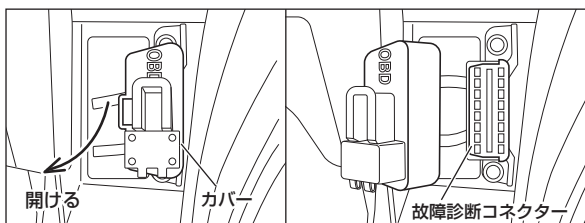
2

OBD2コネクターを接続する

1 診断コネクター位置を確認する

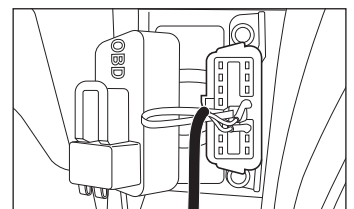


2 カバーを開ける

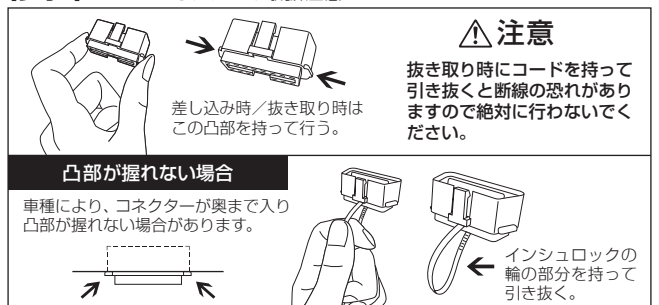


3 OBD2コネクターを根元まで差し込む

サーバーから出ているOBD2コネクターを故障診断コネクターの根元まで差し込み、ヒューズ電源コードを1Pカプラーへ接続します。

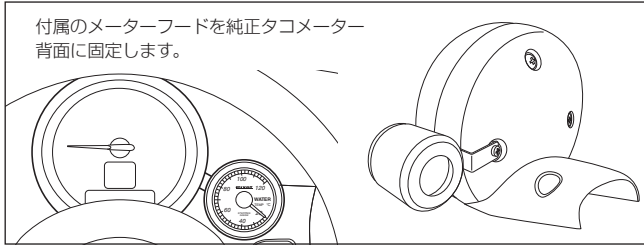


【参考4】OBD2コネクターの取扱注意



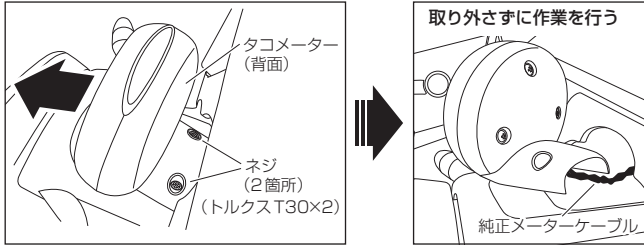
製品の固定

下記は純正タコメーター右側へ取り付ける場合です。左側へお取り付けの際は **2**~**4** の取付要領を左右入れ換えて行ってください。



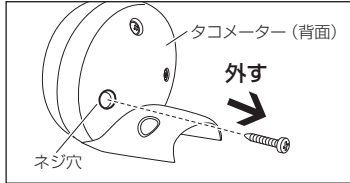
1 純正タコメーターを外す

純正タコメーター背面の台座の部分にある2箇所ネジ(トルクスT30×2)を外し、メーターを手前に引き出します。(純正タコメーターの配線はステアリングコラムカバー内までつながっているため取り外せません。配線を引き出したまま作業を行ってください。) ※外したネジはなくさないようにしてください。



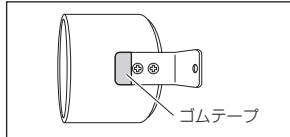
2 純正タコメーター背面のネジを外す

純正タコメーター背面の左のネジ穴にあるネジを外します。
※外したネジは大切に保管してください。



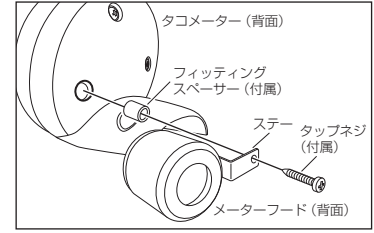
3 メーターフードのステー部にゴムテープを貼る

付属のゴムテープをカットし、図のように張り付けてください。純正タコメーターと当たる部分ですので必ず貼ってください。

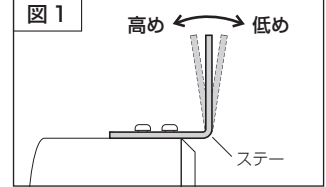
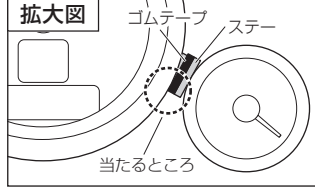


4 メーターフードをネジで固定する

メーターフードの取付位置を決め、付属のスペーサーとタップネジを使用して固定します。



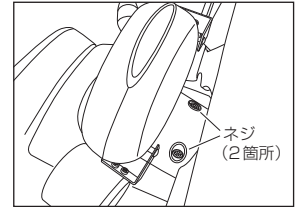
POINT



メーターフードに固定されているL型ステーは多少力かけると曲がります。メーターの高さ調整などの際には曲げてください。(図1)
ただし、純正タコメーターに固定した後の曲げは純正タコメーターのネジ受け部が破損することがありますので、フード単体で作業を行ってください。

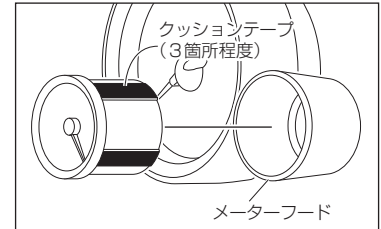
5 タコメーターを元の位置に戻す

1と逆の手順で純正メーターを元の位置に戻し、ネジで確実に固定します。



6 メーターフードにメーターを固定する

メーターフード裏の穴から5Pコードを出し、メーター裏の5Pコブラーに差し込んだら、角度を決めてメーターを圧入しフードへ固定してください。



基本操作方法

1 キースイッチ ON (エンジン始動) 	2 オープニングデモ 	3 水温表示 	4 キースイッチ OFF (エンジン停止) 	5 メーター OFF 特性上、針はキー OFF 時の位置で止まります。
---------------------------------	-----------------------	-------------------	----------------------------------	---

故障と思われるまえに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	メーターケーブル、OBD2 コネクター、ヒューズ電源の接続不良。 電源を直接配線した場合の赤コードの配線間違いか接触不良。 対応外の車種に取り付けている。	メーターケーブル、OBD2 コネクター、ヒューズ電源の接続状態を確認する。 赤コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。 対応車種表をご確認ください。
表示が純正や他のメーターとズレる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で異常ではありません。	